

研究・実践助成(共通)

原稿作成要領・成果物 フォーマットチェック表

※オレンジ(下地・文字)は、実践のみ ※赤字・青字は、要注意箇所

研究論文及び実践研究報告書テンプレート(以下、URL参照)

<http://www.jusoken.or.jp/josei/download.html>

2021. 9. 1→2021. 10. 22修正→2021. 11. 26修正→2022. 5. 16修正→2023. 8. 9修正→2024. 6. 28

*旧「原稿作成要領」と「フォーマットチェック表」を統合しました。

項目 ※カッコがないものは 研究・実践共通	チェック	内容
1 原稿作成	<input type="checkbox"/>	原稿は「 論文テンプレート 」(ワード形式A4判)をご利用ください。※上記URLよりダウンロード
2-1 提出物①(研究)(実践)	<input type="checkbox"/>	ワード形式データ(テンプレート)を「 PDF(カラー版) 」に変換し「システム」にアップロードしてください。 提出日:2025年10月31日(金)23:59必着
2-2 提出物②(実践のみ)	<input type="checkbox"/>	ワード形式データに加え、後日「 実践研究報告集 グラフィック版 」(※後述参照)作成のため、 図版データ(元画像データJPEG形式) を別途ご提出してください。 ※図版データはワードに貼り付けたものではなく、別途、解像度を落としていない元データ 提出日:2026年2月27日(金)23:59必着
3 論文掲載	<input type="checkbox"/>	『住総研 研究論文集・実践研究報告集』(翌年3月発行・電子版)に掲載し公開します。 最終成果物「 PDF(カラー版) 」のデータは、住総研ホームページ、J-stageにそのまま(カラー)掲載されます。 (詳細は後述「25 成果物について」参照)
4-1 原稿量(研究)	<input type="checkbox"/>	1ページ2400字(25文字×48行×2段横組)、10ページ以上12ページ以内とする。
4-2 原稿量(実践)	<input type="checkbox"/>	1ページ2400字(25文字×48行×2段横組)、8ページ以上10ページ以内とする。
5 ファイルサイズ	<input type="checkbox"/>	ファイルサイズは 8メガ以内 とする。※8メガを超えると「システム」アップロード不可。
6-1 構成順序(研究)	<input type="checkbox"/>	必須記述事項およびその構成順序は「論文テンプレート」通りとする。 (1頁目)助成No.→題目(主題・副題)→主査名・委員名→和文要旨→キーワード→英文題目(主題・副題)→英文主査名・委員名→英文要旨→本文→(フッター)主査、委員の所属・職位 (2頁目以降～最終頁)本文→謝辞→注→参考文献→研究協力者(※謝辞以下は必要に応じて)
6-2 構成順序(実践)	<input type="checkbox"/>	必須記述事項およびその構成順序は「論文テンプレート」通りとする。 (1頁目)助成No.→題目(主題・副題)→主査名・委員名→ 活動紹介キャッチフレーズ →活動要旨→キーワード→英文題目(主題・副題)→英文主査名・委員名→ 英文活動紹介キャッチフレーズ →英文活動要旨→本文→(フッター)主査、委員の所属・職位 (2頁目以降～最終頁)本文→謝辞→注→参考文献→研究協力者(※謝辞以下は必要に応じて)
7 助成No.	<input type="checkbox"/>	4桁 数字の 助成No. を記入。「9P MS明朝体」半角数字。 例: 研究No. XXXX。※4桁数字と助成種別は、 助成決定通知書 を参照。
8 題目 (主題・副題)	<input type="checkbox"/>	題目は主題・副題とも、原則として、「助成決定通知書」に記載のものとする。 ※変更する場合は、予め申し出て研究運営委員会の承諾を得る。(主題・副題とも 30字以内)
		研究及び実践No.との間は1行あけ、主題・副題とも、中央割り付けとする。
		主題は、 13P 太MSゴシック体 。(30字以内)
		副題は、 11P MS明朝体 とし、両端は「— —」でくくり、「— —」と本文の間にはスペースは入れない。 (30字以内)例: 日本橋周辺を対象として—
9 主査・委員名	<input type="checkbox"/>	主査、委員の「文字」は、 7P MS明朝体 とする。
		主査、委員の「氏名」は、 9P MS明朝体 とし、 姓と名の間は全角1文字分 をあける。
		委員は、 事務局に提出された委員会名簿に記載されている氏名のみ を記入。委員名は「,」をつけて続ける。 ※委員に変更がある場合は、予め申し出て研究運営委員会の承諾を得る。
		題目と主査名・委員名の間は研究助成は「 1行 」あけ、主査名・委員名とも 中央割り付け とする。 また、 主査名と委員名は行を替える 。
10 活動紹介の キャッチフレーズ (実践のみ)	<input type="checkbox"/>	委員名との間は1行あける。
		頭揃えで文字数 30字程度 、 9P MS ゴシック体 とし、「 」(カギ括弧) でくくる。
11-1 和文要旨 (研究)	<input type="checkbox"/>	委員名との間は 1行 あける。 文頭は 全角1文字分下げ 、本文 300字以内 とし、 9P MS明朝 。
11-2 和文要旨 (実践)	<input type="checkbox"/>	活動のエッセンスを記載。特に社会に役立つポイントを記し、今後同じような活動に関わる人たちに水平展開できる内容を記載することが望ましい。
		活動紹介キャッチフレーズとの間は行をあけない。 文頭は 全角1文字分下げ 、本文 300字以内 とし、 9P MS明朝 。
12 キーワード	<input type="checkbox"/>	報告書内容を示し、多くの検索に対応できる用語を 数ワード 、 各10文字以内 で選定する。
		和文要旨とキーワードの間を 1行 あけ、 中央割り付け とする。
		「キーワード:」は 8P MSゴシック体 、キーワードの内容は 8P MS明朝体 。
		一語ずつコンマ「,」 で区切り、 片括弧 つきの 通し番号 をつける。
13 題目 (主題・副題)	<input type="checkbox"/>	主題は、 11P Arial (もしくは Helvetica Regular)で、 すべて大文字 。
		副題は、 9P Arial (もしくは Helvetica Regular)で、 最初の1語のみ大文字 とし、両端は「— —」半角でくくる。
14 主査・委員名	<input type="checkbox"/>	副題との間は 1行 あけ、 中央割り付け とする。
		9P Times Roman (もしくはTimes New Roman)で、 姓と名の頭文字は大文字 。
		主査氏名の前には Ch. 、委員氏名の先頭には Mem. (9PTimes Roman もしくはTimes New Roman)を入れる。 委員名は和文と同様、 登録済みの委員名 を記入し、複数の場合は「,」で区切る。

研究・実践助成(共通)

原稿作成要領・成果物 フォーマットチェック表 ※オレンジ(下地・文字)は、実践のみ ※赤字・青字は、要注意箇所

研究論文及び実践研究報告書テンプレート(以下、URL参照)

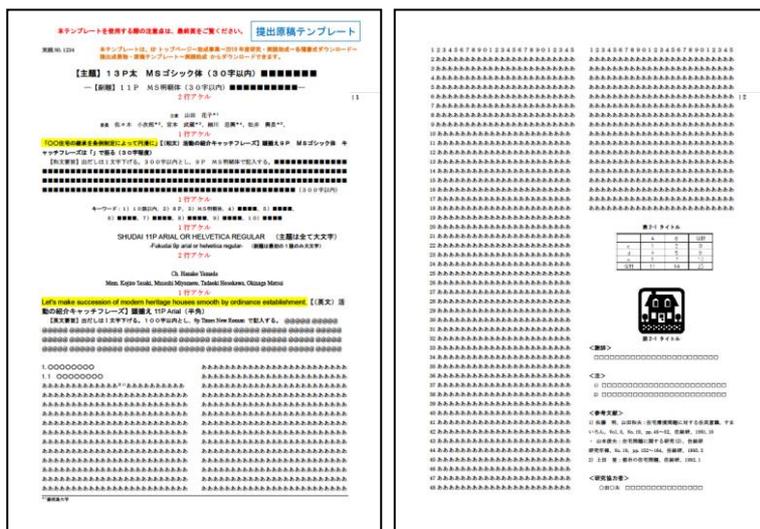
<http://www.jusoken.or.jp/josei/download.html>

2021. 9. 1→2021. 10. 22修正→2021. 11. 26修正→2022. 5. 16修正→2023. 8. 9修正→2024. 6. 28

*旧「原稿作成要領」と「フォーマットチェック表」を統合しました。

項目 ※カッコがないものは 研究・実践共通	チェック	内容
15 活動紹介の キャッチフレーズ (実践のみ)	英語	<input type="checkbox"/> 委員名[英語]との間は1行あける。
		<input type="checkbox"/> 頭揃えて11P Arial半角(もしくはHelvetica Regular)とする。
16 英文要旨	英語	<input type="checkbox"/> 文頭は半角5文字(英文入力のスペース5文字)分下げ。
		<input type="checkbox"/> 英文は、100words以内とし、9P Times Roman(もしくはTimes New Roman) で記入。
17 (1頁下部) 所属機関 職位 学位		<input type="checkbox"/> 主査・委員の所属機関と職位・学位を記載する。 所属機関は、「主として研究および実践活動を実施したところ」を記す。
		<input type="checkbox"/> 7P MS明朝体で、1頁末行(テンプレートではフッターに設定)に記入。 主査・委員に対応する肩付記号をつける。 例：*1〇〇大学 教授 博士(工学) *2〇〇大学大学院博士前期課程 *3〇〇大学〇〇学部 ※大学院生、学部学生の場合は、〇〇大学大学院博士前期課程、または、大学と学部を記す。
18 本文		<input type="checkbox"/> 英文要旨との間は1行をあける。
		<input type="checkbox"/> 25字×48行の2段組、段落設定1行、冒頭(改行後)全角1文字分下げ、字数は原則1頁2,400字。
		<input type="checkbox"/> 本文中の文字は9P MS明朝体、数字1桁は全角、2桁以上は半角とする。
		<input type="checkbox"/> 文体は、「である」調とする。
		<input type="checkbox"/> 句読点は全角で「。」(まる)、「,」(コンマ)とする。※「.」(ピリオド)、「、」(涙点)は用いない。
		<input type="checkbox"/> 難読な固有名詞や地名、語句等を使用する場合は、ふりがな(ルビ)をつける(初出のみ)。 また、略語を用いるときは、正式名称を後にカッコ()書きする(初出のみ)。
		<input type="checkbox"/> 同一の用語・用字の表記は統一する。
		<input type="checkbox"/> ローマ字・アラビア数字・ギリシャ文字・上ツキ・下ツキ・大文字・小文字など紛らわしいものは特に注意を払う。
		<input type="checkbox"/> 数式には、…(1)、…(2)、…(3)など通し番号を付ける。
		<input type="checkbox"/> 章節項が変わるときは1行あける。
		<input type="checkbox"/> 章節項の数字は半角とし、章節は9P MSゴシック体、項は9P MS明朝体とする。
		<input type="checkbox"/> 章節の数字と章節の文字の間は1文字あける。※項の数字と文字の間はあけない。 (例) 章:1. 〇〇〇 2. 〇〇〇 …9P MSゴシック体 節:1.1 〇〇〇 2.1 〇〇〇 …9P MSゴシック体 項:1) 〇〇〇 2) 〇〇〇 …9P MS明朝体
		<input type="checkbox"/> 本文中の図・表・写真の呼び出しは、8PMSゴシック体とし、数字は半角とする。例:図4-3。
<input type="checkbox"/> 本文中の(注)や(参考文献)の表記は、5P MS明朝体・肩付文字とし、注1)や文1)のように通し番号を付ける。		
<input type="checkbox"/> 頁ナンブルについては、「論文テンプレート」右上部に自動設定されているものを使用する。 ※論文提出時、(右上部)頁ナンブルは削除せずそのままとする。また、別途下部に追加しない。		
19 本文(実践のみ) ※(2)~(6)の項目を盛り込んだ構成で作成。 ※但し、(1)のみ必要に応じて記載。		<input type="checkbox"/> (1)活動組織紹介(※主体となる活動組織の紹介が必要であれば記載) 1)活動主体名 2)設立年月 3)活動主体について簡単な紹介(100~150字) 4)その他(自由記載) (2)活動の背景と目的・目標 どのような背景、目的があり、目標は何かを明確にする。 (3)活動内容 「小見出し」と「本文」で構成し、以下、内容理解に役立つ事項を記載する。 1)どのような活動をしたか。 2)試行中、運営中等の状況説明。 3)活動の訴求力(様々なメディア等を通じて社会的に反響があったか等)。 4)活動の独自性(類似の活動とは何か違うのか、独自の活動は何か等)。 5)活動の期間(スケジュール)。 (4)活動の成果・評価 成果は何で、どのようにして目標、課題を達成(解決)したと評価するのか。 (5)活動を通じて 1)学んだこと或いは教訓となったこと。 2)苦勞した点や活動の障害になったこと。 (6)今後の課題と展望(結び) 1)残された課題は何か、社会的な課題があれば、別途記載。 2)活動が将来にどのようにつながるのか。
		<input type="checkbox"/> (1)残された課題は何か、社会的な課題があれば、別途記載。 2)活動が将来にどのようにつながるのか。
20 図・表・写真		<input type="checkbox"/> カラーとモノクロいずれも判別しやすい図・表・写真を使用すること。
		<input type="checkbox"/> 画像の解像度は、モノクロ/600dpi・カラー/350~400dpiを推奨する。
		<input type="checkbox"/> 図・表は、鮮明な濃度で、文字・記号は、拡大しても十分に判読できる大きさとする。
		<input type="checkbox"/> 配置は1段分または2段分を使うものとし、図・表・写真の横に本文を組み込まない。

「実践研究報告集 グラフィック版」について

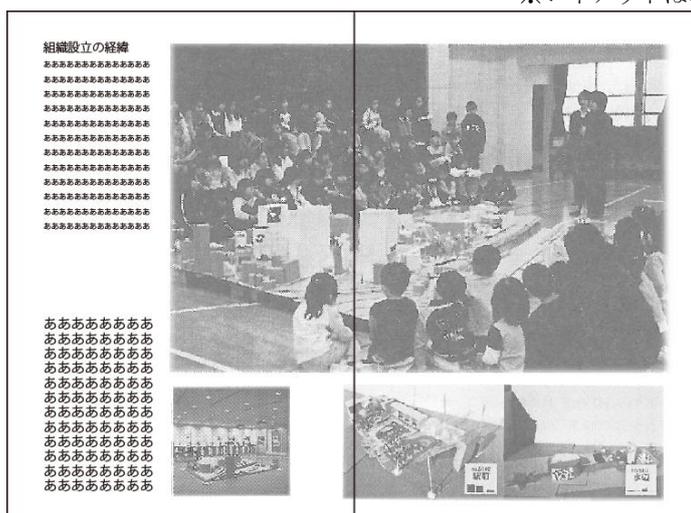


『住総研 研究論文集・実践研究報告集』に掲載された「実践研究報告書」は、当財団がよみやすい形にレイアウト編集し、「[当財団ホームページの「実践研究報告集 グラフィック版」](#)」に掲載。

(「提出原稿」をもとに住総研がレイアウト編集)

[当財団ホームページに掲載する「実践研究報告集 グラフィック版」のイメージ] 見開き

※レイアウトは、この限りではありません



「実践研究報告集 グラフィック版」は、住総研 HP トップページメニュー「情報発信・出版物」より「実践研究報告集 グラフィック版」を選択の上、ご覧ください。

<http://www.jusoken.or.jp/book.html>